

みの方も布でこして入れまして蒸上ますと二色か
さなつたものが出來ますのを切形してだすので
味は豆油砂糖など少しづゝ入れてつくるもので
す

●人參汁のこしらへやう

大根を大きく切りまして、鹽を一寸してある鯛
を入れみそするに、かつをの煎汁を加へまして能
々煮てつかふのです

●爾多といふ詞

今世ぬたといふものは、あへものゝ名なり、あ
へものゝにちやにちやせるをぬたといへり、これ
はにたといふ詞のうつりたるにて正しくは爾多と
いはねばならぬなり

出雲風土記に

御乾飯爾多爾食座といふ詔見えて其故に其

所の名を爾多郷といふを、今人努多といふよし
見えたる、是がぬたの事を正しくは、にたとい
はねばならぬ證となつてをります

水の上をやみにして飛ぶ蟹かな

看護法

醫學士 長瀬復三郎

さて今回は私は小兒の生理といふことの一般に
付いて、おはなしをして置いて、そらして次には、
小兒の疾病の模様、これに對して救急療法とい
ふことなどに渡らうと思ひます。

皆さん方が子供を御取扱になります時に第一に
注意せねばならぬ事は皆さん方は疾病の子供を取
扱ふのではなくして、健全の子供を取扱ふので
あるから、其子供が健全であるかどうかと云ふ事

を一目して判るが必要であらうと思ふ。それには小兒の身體の特有性を御承知ならば其特有性から異なつた點を見る事、即ち變化を早く着眼する事が出来れば其子供は如何なる疾病があるかを知る事は易いと思ふ、健康小兒はドウ云ふものであるか、といふに小兒一般の體重と云ふ事を注意せねばならぬ次に胸圍 頭の圍り、呼吸の有様、それから顔面の色、光澤とか、外見上見た所、其位な所が幾らか 據ろになる、子供の(體重)は今まで西洋の人が調べた内で、ブシオー氏、ケトレーなどの調べたものがある、さう云ふ者に依て比較して日本の小兒の體重によつて健康が判る、日本の子供の體重は日本の書物には統計は確かでない、先づ初生兒の體重は大抵三千五百グラム位から三千二百グラム位である、三千二百グラムより少な

いのもある、男子と女子に依つては違ふは勿論である、一年の男子の子供になると一萬グラム位から乃至九千グラムになる、二年の子供であると一萬千三百四十グラム位、段々初生兒の時から此位な増加を以て行つて十五年の時には三萬九千から四萬五千グラムまでの目方の上つて行く、初生兒に較べて見ると十倍乃至十二倍位な増加を見る尤もこれは男子の表でありまして、女子にして見ればモウ少し軽い、日本の子供では詳しい統計は無いですが併し大凡目方を考へて見るとこれと比較すれば其子供の體重は年齢に適當するか否を知る事が出来やうと思ふ、又各學校の身體検査の時分の表などもありませうけれどもこれも人數も少なく、完全なものと言はれぬ、斯う云ふものは各學校の子供の體重を取りて調べて見て統計を作つたな

ら随分面白いものが出来るであらうと思ふ。(第一表参照)

次に(身長)、それはドウ云ふ風に氣を付けて行くかと云ふと、尤も初生兒にして見ても身長は男女によりて一樣でない事は勿論であるが、男子は四九、四、女子は四八、三「センチメートル」位が大凡の長である、日本の初生兒の身長に就ては諸先輩の統計がありますけれども多少の差異があるだけであります、一年になると六九、乃至八〇「センチメートル」二年六七九、八「センチメートル」に伸びて行つて、十二三歳の時は一三八、「センチメートル」だけに大くなる、初生兒からして一年までの間は存外多い、年々年を取つて行くに従ふてさうは差はぬ、西洋人でも初生兒の内には日本人と大なる差がない七八歳以上に至つて

初めて、差異を、認むるのである(第二表参照)
次に(胸圍)、これも種々ありますが、初生兒の胸圍は乳の高さで計つたものが平均三十一「センチメートル」さうして七ヶ月になつて四十三「センチメートル」、一年以上二年は四七、八僅かな増しよりない、七歳からして九歳位までになると六七、九の胸圍を有つて居る、胸の構造に就ても小供を御覽になると所謂鳩胸と云ふがあり、漏斗胸と云ふがあり、或は胸の扁平なるもあり、又圓いもあり種々形が異つて居る、従つて胸圍も異ひ、健康にも關係がある、それは後で申しませす、(第三表参照)

第一表

第二表

第三表

第四表

年 齡	體 重		身 長	胸 圍	頭 圍
初 生 兒	3200-3500 ^{gr}		49,4-48,3 ^{cm}	31cm	33-35cm
1 ヶ 月	40-00				
2 ヶ 月	4700				
3 ヶ 月	5350				
4 ヶ 月	5950				
5 ヶ 月	6500				
6 ヶ 月	7000				
7 ヶ 月	7450			43	44
8 ヶ 月	7850				
9 ヶ 月	8200				
10 ヶ 月	8500				
11 ヶ 月	8750				
1 年	9000	} 男	69,3		
2 年	11340		79,6	47	47,5
3 年	12470		86,7		
4 年	14230		93,0		
5 年	15770		98,6		
6 年	17240		104,5	} 67,0	40,5-53
7 年	19100		—		
8 年	20760		116,0		
9 年	22690		122,1		
10 年	24520		128,0		
11 年	27100		133,4		
12 年	29820		138,4		

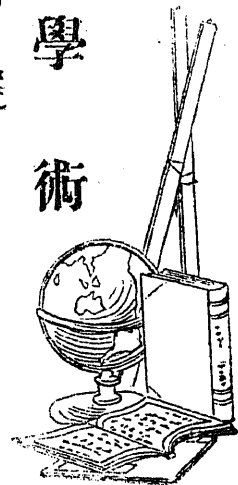
(頭圍)、これは皆さんも御存じの通り頭の大きい子供は時々脳水腫と云ふ病氣で大きいのもあり、又頭の構造が小さくあつて、痴呆と云ふやうな子供が多くあるものである、頭の圍は一見してこれ位な子供ならばと云ふ區別が付くものであります、普通は初生児の頭圍は凡そ三十三乃至三十五「センチメートル」、七ヶ月には四四「センチメートル」、それから一年と二年の間は四七、五、七八歳になれば四九、五から五三「センチメートル」位に増して来る、二歳の子供と七歳位になつた子供との差は著しくわりませぬが、四五歳の子供を見ても此中間より大いとか、小いとか云ふ事を見ればそれは異状のあるものと認めて宜いだらうと思ふ、」

(つゞく)

百合の話

佐藤 禮介

學 術



吾が國の名花の一——吾が國の人は櫻花を以て國粹を代表せる名花なりとして昔より詩に吟じ歌に詠じて居るが、是は國內のみにて國人が觀て賞讃するところのものである。然るに維新以後外國との交通が盛になつてからして、外國人が觀て日本の名花なりと稱するものがある、即ち吾が國の百合と菊である、歐米諸國にも百合や菊はあるけれども、吾が國の、様に壯大美麗なるものはな